

イヒナビ

vol.27

ihinavi

旭化成ホームズ株式会社
東京法人支店



～こうしておけばよかった・・・住宅購入を後悔しないために～

**住宅購入で80%の人が後悔！？
後悔するポイントを徹底解説**

～本当に大切な家とは？～

どんなエリアでも安心して暮らせる家とは

【こうしておけばよかった・・・住宅購入を後悔しないために】

住宅購入で80%の人が後悔！？ 後悔しているポイントを徹底解説

住まいや暮らしに関する様々な“気になるコト”を調査する「フリエ住まい総研」の調査によると住宅を購入した人の80%以上の方が購入後に後悔をしているという結果が発表されていました。80%以上という数字に驚きました。人生で一番大きな買い物と言われている住宅の購入ですので、皆さん下調べをしたり、情報収集もされているはず。一体どのような点で後悔をしているのでしょうか？

後悔した点は「コレ」をしておけば改善できたはず！

右のグラフは、不動産情報サイト アットホームで行ったアンケート調査の結果です。後悔した点の第一位は「間取り」、第二位は「設備」、第三位は「収納スペース」でした。その他の項目も、注文住宅であれば事前に改善できた点があるのがわかります。後悔してしまう要因は、シミュレーションがきちんとできていなかったのが原因ではないでしょうか？今はシミュレーション技術も発達しているので、ぜひ事前に確認をしてみましょう。

順位	後悔したこと・場所	票数
第1位	間取り	57
第2位	設備	40
第3位	収納スペースが少ない	26
第4位	コンセントの位置・数	24
第5位	窓の位置・数・大きさ	21
第6位	冷暖房効率	18
第7位	ベランダの広さ・向き	15
第8位	予算	11
第9位	ハウスメーカー選び	10
第10位	駐車場	7

回答サンプル：268（複数回答可）

後悔したくないならシミュレーション！



10年後、30年後のシミュレーション

間取りの後悔で多いのが「老後の生活を考えて間取りを考慮しておくべきだった」「子どもの成長のことを考えておくべきだった」「親の介護のことを考えておくべきだった」という意見です。家を建てた時の理想の間取りが、年を重ねていくと変化していくことに気づけない場合も多いので、未来の家族の暮らしを考えながら間取りをプランしていくことが大切です。

生活のシミュレーション

家族の生活スタイルは1つ1つ異なります。どう生活するか？起床から就寝までの家族の動きを考えた間取りが大切です。ご自身で間取りは作れませんので、担当者に伝えて、それらをきちんと汲み取ってくれるハウスメーカーで家づくりするのが安心です。



【光熱費の高騰の影響や温暖化の影響？】



冷暖房の効率性に後悔する人も

前ページで紹介したように「間取り」や「設備」などの後悔は、一般的な後悔内容だと想像される方も多いと思います。そんな中で意外だったのが第6位の「冷暖房の効率性」です。「憧れの一軒家を購入したのに、エアコンの効きが悪く電気代が高くなってしまった」、「リビングは暖かいのに、廊下や洗面所、お風呂が寒すぎる、、、」と後悔される方も大変多いそうです。そこに、光熱費高騰が家計を圧迫し、さらに温暖化による影響で「夏から冬」へ一気に季節が移り変わることで、冷房や暖房をつけておく期間が長くなってしまいます。

2025年、肌寒いと感じるのは10月下旬！

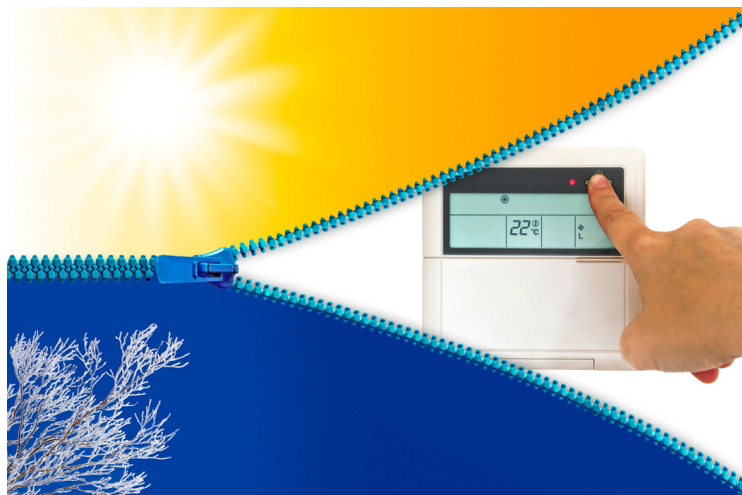


皆さんは昨年、秋を感じましたか？残暑が10月以降も続き、11月も厚手の上着がなくても過ごせた日が多かったのではないのでしょうか？今年も少し肌寒いと感じるのは10月下旬であると気象庁が発表しております。このような状態が続いていくと、冷暖房を長期間使用しなくてはならない時期が増加し、さらに異常気象もあるので、それに合わせて家の中を温度を調節する必要があります。

日々の冷暖房、どう使っていますか？

まだまだ暑い日が続いている9月。エアコンをつけていると「急激に寒くなる場所」と「涼しくなりにくい場所」がありませんか？

一般的なエアコンは人感知センサーもありますが、部屋という单体での温度調整になってくるので「リビングが快適でも廊下に出たり二階に上がると暑くて仕方ない」ということもあります。新築の家を建てても、そんな後悔を感じる人が少なくないことがわかりました。



どうすれば後悔しない家づくりができるのか？

後悔しない家を建てるために①



ネットの書き込みに左右されず 家づくりに成功した人の話を聞く！

家を建てようと考え始めたら、皆さんもネットでいろいろな情報を収集すると思います。正しい情報もあれば、本当は違う情報の書き込みもあるので、何が正しいかをご自身で判断する必要があります。そんな時にオススメなのが、実際に住んでいる方のお話を聞いたり、見学をさせていただくことです。

東京法人支店では定期的に、実際にHEBEL HAUSで 家を建てたお宅を見学できる企画を実施



建築中、新築、築30年のHEBEL HAUSを半日でお昼付きでご案内する企画がございます。

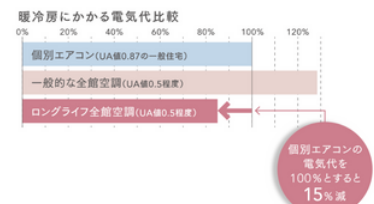


全館空調も選択肢で考えておく！

HEBEL HAUSの全館空調は、光熱費も抑えることができます。これからの日本の気候を考えた上でも選択肢の中に入れておくことをお勧めします。

HEBEL HAUSのロングライフ全館空調 なら光熱費も安心

一般的な全館空調より断然お得です。

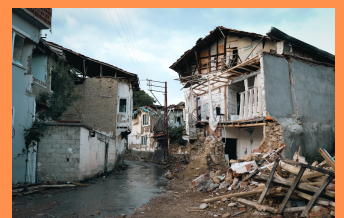


災害に強い家を建てる

9月から10月にかけて、風水害が発生しやすくなります。また、南海トラフ地震などの発生確率も高まっています。せっかく大切な資金を費やして建てた家が災害で失われないように。そして、家族を守ってくれる家を建てるのが大切です。

HEBEL HAUSは数々の災害を経験し お客様を守る家づくりをしています

HEBEL HAUSでは、数々の震災や風水害からお客様を守ってきました。



後悔しない家を建てるために②



災害時のサポートが手厚い家を建てる

HEBEL HAUSの家には地震発生時の個別建物被害の即時推定を可能とする防災情報システムLONGLIFE AEDGiS（ロングライフイージス）」が設置されます。地震発災後約10分～2時間以内に全国のヘーベルハウス約30万棟の建物損傷予測できるので、在宅避難が良いかを判断することができます。

震度4でもすぐに災害に関する情報や
設備復旧の情報をお届けします

震度5以上の場合は、自宅の自己点検機能から、すぐにサポートします。



安心して任せられる担当者をお願いします！

東京法人支店のスタッフは、長年HEBEL HAUSの家づくりに携わっております。
また提携企業ご担当者様とも頻繁にご連絡を取らせていただいております。

私たちは家を建てていただいた後もサポート
いたします。HEBEL HAUSの60年保証！

貴社の皆様の家づくりもサポートさせていただきました。



後悔しない家づくりを
私たちはサポートいたします

<編集後記>

今回の特集では、多くのご家族が実際に感じている“もっとこうしておけばよかった”という声に注目しました。

調査データによれば、間取りや家事動線、設備選びなどで将来を見据えた工夫が足りなかったという後悔が目立ちます。

その点、ヘーベルハウスでは、すでにお住まいのお客様の実邸を見学できる機会を定期的に設けています。実際の暮らしの中で体験することで、図面やモデルハウスでは気づきにくい工夫を発見でき、後悔のない家づくりへとつながります。

また、冷暖房に関する「思っていた以上に光熱費がかかる」という声も少なくありません。ヘーベルハウスの全館空調は、一般的な全館空調よりも省エネ性に優れており、快適さと経済性を両立。さらに、災害に強い構造と備えは、将来の安心を確かなものにします。

これからの暮らしを長く見据えた住まいづくりを考えると、ほんの少しの体験や情報の差が「後悔しない家」に直結します。ぜひ実際の暮らしをご覧ください、未来のご自身やご家族の姿を具体的に思い描いていただければ幸いです。